

活動助成（2010年度募集）活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人 オーシャンゲート ジャパン
活動テーマ	子ども応急手当普及&水面安全サポーター育成



子どもたちが、屋内の風呂場や野外での海や川などでの水に関わる事故が増えている。子どもたちが、安全に安心して毎日を楽しむためには、いざという時の対応を、子どもの保護者はもちろん多くの人々が、しっかりと習得する必要がある。大人に対する応急手当の普及と同様に、子どもに対する応急手当の普及も、今最も求められている。屋内や野外での水による事故を軽減するためにも、より多くの人々が子ども応急手当と水面安全救助法を習得し、より安全意識を徹底していくことを目的とする。子ども応急手当を、大人の応急手当と比較しながら実施する。さらに、全身のケガや病気の調べ方も、大人との対比によりわかりやすく明確にしていく。プール施設において、海や川を想定した水面救助と安全訓練を実施する。また、グループによる連携の必要性和重要性を徹底し、役割分担しながら実施する。水面の救助から陸上に引き上げるまでの一貫した流れを、参加者がしっかりと把握しながら、安全対策の注意点と強調点を効果的に習得していく。今回の助成事業において、当初予定していた参加者を、はるかに超える参加が得られた。多くの方々がともに学び、協力できる連携システムが構築できた。成人の応急手当は、それなりの普及を見せている。しかし、子どもに対する応急手当や、水面での救助サポートの方法は、まだまだ普及していないのが現状である。少子化による子どもたちの状況を鑑み、子どもの保護者だけに任せているだけでなく、社会としても取り組みをしっかりと定着させていかなければならない。

いざという時の状況において、しっかりと安全に対応することが不可欠である。子どもたちを社会で守り、育てていくという考えを多くの参加者と共有できた。高い安全意識と強い問題意識そして危機管理の重要さを、この助成事業を通じて多くの人々と再確認できたことの効果は絶大である。